

## 1 経営的特徴と導入方法

ペチュニアは、ナス科ペチュニア属で、南米からメキシコが原産の一年草。日本名ではツクバネアサガオ、花冠は漏斗状で花筒が浅く5裂しているところがアサガオに似ている。今日園芸的に利用されているものは、1835年にイギリスのウィリアム・ハーバードがアルゼンチンのラプラタ川流域原産のものを交配して育成した交雑種がもとになっている。

小輪多花性のマルチフローラ系と大輪のグランディフローラ系に大別される。花色は、赤、青、白、黄の単色や覆輪、星形模様など多様で丸弁と波状弁、一重咲きと八重咲きがある。近年人気が高いサフィニアもこの改良種である。

表1 10a 当たり旬別所要労働時間 (単位: 時間)

月	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
時間	40.0	8.0	8.0	8.0	196	80.0	40.0	40.0	40.0	44.0	44.0	44.0	44.0	144	140	160	160	140

  

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
100																		1,480

(注) 1. 石川県第5次農業振興ビジョン関連資料集(1996. 11)

2. 収穫鉢数74,000鉢/10a 花苗主体型

## 2 生理生態的特性と適応性

南米原産のナス科の植物で、もともとは多年草の性質をもっているが、わが国では越冬が難しいので一年草として取り扱っている。生育適温は20～25℃。相対的長日植物で高温長日下で、基部分枝数が少なくなり節間伸びてよく開花する。低温短日下では開花しにくくなるが、反対に基部分枝は多くなって節間はつまる。したがって、低温短日の冬期に育苗を行い、基部分枝の多いしまった苗をつくり、長日期に入る3～4月に開花させた苗が最も良質である。

光の十分にあたるところでよく生育し、半日陰になると、急速に生育・開花が悪くなる。乾燥にはかなり強く多湿条件下は、不適応である。

### 3 作型と品種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1月播種5月出し			Ω	——	加温	——	Ω		
		○	——	◇	——				
2月播種5、6月出し					Ω	——	加温	——	Ω
					○	——	◇	——	
3月播種6月出し						Ω	加温	Ω	
						○	——	◇	——

#### (1) 作型

1月から3月まで時期をずらして播種することにより、5月から6月まで継続して出荷することができる。

#### (2) 品種

現在の品種は雑種強勢による株の強さ、斉一性などの優れているという理由でそのほとんどがF1品種である。花色は赤、橙、桃、紫、覆輪、黄、白など豊富で花の形も一重咲き、八重咲きなどバラエティーに富んでいる。

##### ア 大輪一重咲き種

花径7~9cmほどの輪の大きい一重咲き品種群で現在のペチュニアの品種の主流となるものである。

ファルコシリーズ、ウルトラシリーズ、ドリームシリーズ

これらの品種よりも大きな巨大輪種タイタンシリーズがある。

##### イ 小輪一重咲き種

花径5~6cmほどの一重咲き品種群で多花性であり株を覆うように花が咲き、特に花壇に適している。

大輪種よりも耐雨性に優れるため、栽培数も増加している。

バカラシリーズ、プライムタイムシリーズ、ミラージュシリーズ・カーペットシリーズ

ポロシリーズ、パールシリーズ、セレブリティシリーズ

##### ウ 大輪八重咲き種      ジャイアントビクトリアシリーズ、ブーケシリーズ

##### エ 小輪八重咲き種      デュオシリーズ

## 4 栽培

### (1) 育苗

均一な良質のものをつくるためには、育苗が重要であり、セル成形育苗トレイを利用することが望ましい。セル成形育苗は、移植後の活着、苗の揃いが良いうえに、移植の作業効率がよい。セル成形育苗ができない場合は、種子が小さいため、ピートバンに播種する。

種子は10ml あたり40,000～50,000粒と細かく、また、発芽に光を必要とするため、播種後、覆土は行わず、発芽が揃うまで水は底から吸わせる。20℃前後で発芽まで7日くらい要する。本葉展開後、苗が徒長しないように温度を18～20℃くらいで管理する。また、根の発育を促すため、培養土は乾かし気味にし、かん水時に十分与える。

### (2) 鉢上げ

本葉が3～4枚になったら、3号程度のポリポットに鉢上げする。鉢上げする用土は pH6～6.5程度で、排水性のよいものを用いる。1週間に1回くらい1,000倍の液肥を与える。窒素が足りないと葉色が淡緑か、ら黄緑になり生育が悪くなる。

日照が不足すると徒長するので、十分に日にあてるようにし、温度を15～20℃で管理する。活着するまでは十分なかん水を行う。活着後は水は控えめにし、やや乾燥状態で管理しながら、換気に気をくばり、鉢の間隔を十分とり徒長しないようにする。

温度が上がり長日になるにつれて苗は徒長しやすくなる。苗をコンパクトにつくるには、わい化剤を利用し、節間の伸長を防ぐことも有効である。わい化剤を用いると、株も徒長しないかわりに花径も小さくなったり、複色花では有色部より白色部が多くなったりする。また、生育状況と栽培環境により処理の調節が必要であるとともに、品種によっても効き方違うので予備テストを行ってから使用することが望ましい。一般的にペチュニアはビーナインを使用する。播種後40日前後（本葉8枚程度）に250～400倍（約2,000PPm）の濃度で1回目の散布をする。ビーナイン散布後約1日はかん水を控える。そして、ビーナインが切れるか、切れる直前に散布を繰り返す。濃度や栽培環境によっても異なるが、だいたいの目安としては2～3週間の間隔である。

## 5 主要病害虫とその防除対策

### (1) 病 害

#### ア 糸状菌（かび）による病害

輪紋病、白かび病、うどんこ病、斑点病、菌核病などが知られている。

## イ ウイルスによる病害

ソラマメウルトウイルス(BBWV)、トマト輪点ウイルス(ToRSV)によるウイルス病、キュウリモザイクウイルス(CMV)及びタバコモザイクウイルス(TMV)によるモザイク病が知られている。

## (2) 虫 害

アブラムシ類やハダニ類が加害するが、他の害虫も含めて県内では不明な点が多い。

## 6 出荷

1～2輪咲いた頃が出荷時期である。苗の高さ、花の向きなどを揃え、トレイで出荷する。

### 参考・引用文献

- 1) 別所雅夫、「農業技術大系花卉編 8 1・2年草」、農山魚村文化協会、(平成6年)
- 2) 雨木郁子、「鉢物栽培マニュアル」、誠文堂新光社、(平成6年)
- 3) 鶴島久男、「花卉園芸ハンドブック (新編第5版)」、養賢堂、(平成6年)

# ペチュニア栽培ごよみ

月	旬	生育 状況	作 業	栽 培 の 要 点	摘 要						
1	上	播 種 期	は 種	<p>1. 作型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>播種期</th> <th>鉢上げ期</th> <th>開花期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月上旬～3月下旬</td> <td>3月上旬～4月中旬</td> <td>4月下旬～6月上旬</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 主要品種</p> <p>(1) 大輪一重咲き種 ファルコシリーズ、ウルトラシリーズ、ドリームシリーズ</p> <p>(2) 小輪一重咲き種 バカラシリーズ、プライムタイムシリーズ、ミラージュシリーズ カーペットシリーズ、ポロシリーズ、パールシリーズ、セレブリティシリーズ</p> <p>(3) 大輪八重咲き種 ジャイアントビクトリアシリーズ、ブーケシリーズ</p> <p>(4) 小輪八重咲き種 デュオシリーズ</p> <p>3. 育苗</p> <p>均一で良質な苗をつくるため、セル成形苗用トレイを利用することが望ましい。種子が細かく、また、発芽に光を必要とするため、は種後覆土は行わず、発芽が揃うまでは底面給水する。</p> <p>20℃前後で発芽まで7日くらい要する。本葉展開後は苗が徒長しないように温度を18～20℃くらいで管理する。また、根の発育を促すため、培養土は乾かし気味にし、かん水する時は十分与える。</p> <p>4. 鉢上げ</p> <p>本葉が3～4枚になったら、3号程度のポリポットに鉢上げする。用土は、pH6～6.5で、排水性のよいものを用いる。</p> <p>日照が不足すると徒長するので、日に当てるようにし、15～20℃で管理する。活着するまでは十分なかん水を行う。活着後は水は控えめにし、やや乾燥状態で管理しながら、換気に気をくばり、鉢の間隔を十分にとり徒長しないようにする。</p> <p>5. 出荷</p> <p>1～2輪の咲いた頃が出荷時期である。</p> <p>苗の高さ、花の向きなどを揃え、トレイで出荷する。</p>	播種期	鉢上げ期	開花期	1月上旬～3月下旬	3月上旬～4月中旬	4月下旬～6月上旬	
	播種期				鉢上げ期	開花期					
	1月上旬～3月下旬				3月上旬～4月中旬	4月下旬～6月上旬					
	中										
	下										
	2	上	鉢上げ								
		中									
		下									
	3	上	鉢上げ								
		中									
		下									
	4	上	鉢上げ期								
中											
下											
5	上	開 花 出 荷									
	中										
	下										
6	上	開 花 期									
	中										
	下										
7	上	開 花 期									
	中										
	下										
8	上	開 花 期									
	中										
	下										
9	上	開 花 期									
	中										
	下										
10	上	開 花 期									
	中										
	下										
11	上	開 花 期									
	中										
	下										
12	上	開 花 期									
	中										
	下										